

平成22年4月2日

各位

上場会社名 株式会社リヒトラブ
 代表者 代表取締役社長 田中 経久
 (コード番号 7975)
 問合せ先責任者 取締役経理部長 大内 高明
 (TEL 06-6946-2525)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年10月9日に公表した平成22年2月期(平成21年3月1日～平成22年2月28日)の業績予想を修正するとともに、特別損失の計上を下記の通りいたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,000	200	120	70	3.86
今回発表予想(B)	8,892	351	231	88	4.86
増減額(B-A)	△108	151	111	18	
増減率(%)	△1.2	75.5	92.5	25.7	
(ご参考)前期実績 (平成21年2月期)	9,601	△74	△79	△328	△18.00

平成22年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,970	200	180	120	6.62
今回発表予想(B)	8,875	352	285	145	8.00
増減額(B-A)	△95	152	105	25	
増減率(%)	△1.1	76.0	58.3	20.8	
(ご参考)前期実績 (平成21年2月期)	9,570	△63	△53	△325	△17.89

修正の理由

○修正の理由

当社グループを取り巻く環境につきましては、世界的な景気後退の影響が根強く残り、国内景気は一部改善傾向が見られるものの、依然として企業の業績回復の足取りは重く、厳しい経済環境が継続しております。

このような状況のもとで、当社は、独自性の強い新製品を市場に投入し、競争力の強化や差別化を進めましたが、全般的な需要減少の影響を受け、売上高は前回予想値を若干下回る見込みであります。

また、利益面におきましては、原材料費や人件費等のコスト削減および内製化に努めた事に加え、円高効果により営業利益、経常利益は前回予想値を上回る見込みであります。また、当期純利益は固定資産廃棄損および投資有価証券評価損等による特別損失を計上しましたが、前回予想値を上回る見込みであります。

○特別損失の計上

1. 特別損失の内容及び金額

当社は資産の効率化を図るため、生産設備の更新等に伴う固定資産の廃棄を毎期実施しており、平成22年2月期におきましては、44百万円の固定資産廃棄損を計上いたします。また、投資有価証券の時価評価を行い、35百万円の投資有価証券評価損を計上いたします。

2. 業績の影響

業績に対する影響につきましては、上記業績予想に織り込み済みであります。

※上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上